

『魅力ある八代地域のブランド産品を全国へ』

八代GIブランド推進協議会(熊本県八代市)

【取組に至った経緯】

他産地との品質の差がわかりづらいことから、産品によっては安値での取引が提案され、安値合戦となる懸念や後継者不足によるブランドの継承と後継者の育成等の課題が生じていた。

このため、品質や信頼を向上させ、他産地との差別化を図り、ブランド力を強化し、課題の改善を図る必要があったことから、地理的表示保護制度*

(以下「GI制度」という。)を活用し、八代地域のブランド力向上と海外での保護を図ることを目的として、平成30年(2018)10月、八代地域農業協同組合(以下「JA」という。)、八代市、氷川町及び熊本県等(以下「関係機関」という。)で「八代GIブランド推進協議会」(以下「協議会」という。)を設立し、登録に向けた取組を開始した。

* 地域の伝統を有し、その高い品質等が産地と結びついていることを品質の基準等と共に登録する知的財産制度。



八代特産晩白柚



八代生姜



くまもと塩トマト

注：不知火塩トマト出荷者協議会との共同申請

【取組内容】

関係機関で八代GIブランド推進協議会を組織し、八代地域の農産物のGI制度への登録に向けた地域の生産者への説明や関係者との調整などを行っている。

また、生姜チーム、晩白柚チームなど産品ごとにプロジェクトチームを設置し、GI制度登録後においても、地理的表示等の適正使用の推進や周知・啓発活動を行うとともに、ブランド力向上や海外でのブランド保護を図ることを目的に各種取組を行っている。

【取り組む際に生じた課題と対応】

生産者により販売先が異なることから、品質の基準等を定めるための合意形成や登録後の構成員の管理等、JA以外に出荷する生産者への対応が困難であり課題となっていた。

このため、JA及び市町では、管轄する生産者への制度説明や合意形成を図り、熊本県では市町村域を超える広域の調整を図る等、協議会を組織する関係機関で十分な情報共有を行い、相互に協力・連携し役割を分担することにより課題解決に取り組んだ。

【取組の成果】

全国最多である8産品の登録を誇る熊本県(令和3(2021)年12月末現在)において、八代地域で5産品、うち協議会が3産品(八代特産晩白柚、八代生姜、くまもと塩トマト)登録され、八代地域のブランド力向上とブランド保護に繋げることができた。

【今後の展望】

GI産品を対象とするフェアや商談会等に積極的に参加し、GI制度を活用しながら、知名度向上と今後の農産物の有利販売、強いては産地の農業を守り続けていくよう期待を込めている。

そして、相乗効果を狙い、GI産品だけでなく、「オール八代」を掲げ、八代地域の農産物のPRに取り組みたい。

【問合せ先】八代GIブランド推進協議会事務局 TEL 0965-35-4081
(八代地域農業協同組合営農部営農企画・支援課)